

【6.1】

数列 $\{a_n\}$ が次の関係式で定義されている.

$$6 \sum_{k=1}^n k a_k = (4n+1) \sum_{k=1}^n a_k + 3 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき, 一般項 a_n を求めよ.

【6.2】

n を正の整数とする.

n 個の球と n 個の箱があり, 球にも箱にも $1, 2, 3, \dots, n$ の通し番号が付けてある.

n 個の球を 1 個ずつ箱に入れるとき, 箱の番号と球の番号が一致しない入れ方の総数を a_n で表す.

例えば, $a_1 = 0, a_2 = 1, a_3 = 2, \dots$ である. このとき, 次の各問いに答えよ.

(1) a_{n+2}, a_{n+1}, a_n ($n = 1, 2, 3, \dots$) の満たす関係式を求めよ.

(2) $\frac{a_n}{n!} = p_n \wedge p_{n+1} - p_n = q_n$ と置いて, 一般項 q_n を求めよ. また, 一般項 a_n を求めよ.

【6.3】

Pascal 三角形の第 n 行の部分積

$$P_n = \sum_{k=0}^n {}_n C_{3k}, \quad Q_n = \sum_{k=0}^n {}_n C_{3k+1}, \quad R_n = \sum_{k=0}^n {}_n C_{3k+2}$$

として数列 $\{P_n\}$, $\{Q_n\}$, $\{R_n\}$ を定義する. ただし, $k > n$ のとき, ${}_n C_k = 0$ とする.

- (1) P_{n+1} , Q_{n+1} , R_{n+1} のそれぞれを P_n , Q_n , R_n の式で表せ.
- (2) 一般項 P_n , Q_n , R_n のそれぞれを n の式で表せ.

$$\begin{array}{ccccccc}
 & & & & & & {}_0 C_0 \\
 & & & & & & {}_1 C_0 \quad {}_1 C_1 \\
 & & & & & & {}_2 C_0 \quad {}_2 C_1 \quad {}_2 C_2 \\
 & & & & & & \dots\dots\dots \\
 & & & & & & \dots\dots\dots \\
 & & & & & & {}_n C_0 \quad \dots \quad {}_n C_r \quad {}_n C_{r+1} \quad \dots \quad {}_n C_n \\
 & & & & & & {}_{n+1} C_0 \quad \dots \quad {}_{n+1} C_{r+1} \quad \dots \quad {}_{n+1} C_{n+1}
 \end{array}$$

【6.4】

n 個の実数 a_1, a_2, \dots, a_n が条件

$$a_{k+2} - 2a_{k+1} + a_k > 0 \quad (1 \leq k \leq n-2)$$

を満たしている。また、 a_1, a_2, \dots, a_n の最小値を m とする。

このとき、 $a_j = m$ となる番号 j ($1 \leq j \leq n$) の個数は 1 または 2 であることを示せ。